

祭囃子・八幡塾特集号

第 7 4 号
平成26年2月28日発行 八幡コミュニティ
責任者 早川義一 TEL 32-0144
印刷 八幡コミュニティ
編集 総合管理本部

やわたコミュニティ

◆◆八幡コミュニティ創立30周年記念事業◆◆

◆◆平成26年度 知多市コミュニティ活性化委託事業に決定◆◆

あなたも博士になれる!?

郷土の誇りを学ぶ<個人学習編>

<ふるさと検定試験に>

昭和60年1月に創設された八幡コミュニティは、平成27年1月に創立30周年を迎えます。

この節目に向け記念事業の一つとして「ふるさと検定試験」を計画しています。住民のみなさんに自分たちの八幡についてもっとよく知ってもらいたと願っています。

みんなで挑戦しよう!



ふるさと検定 八幡塾

平成26年4月～9月の授業予定 【開催場所 知多市歴史民俗博物館】

開催日時	授業内容	講師
4月13日(日) 午前10時	貝塚に見る縄文人の暮らし	知多市歴史民俗博物館 真田 泰光
5月11日(日) //	知多市の巨樹古木を訪ねて	樹木医 鈴木 操
6月8日(日) //	古文書から知る先祖のくらし (第6回)	知多市歴史民俗博物館 館長 石川 秀男
7月13日(日) //	万歳から漫才へ	知多市生涯学習指導員 吉川 好三
8月10日(日) //	「知多酒の歴史」と酒の効能	中埜酒造株式会社 酒の文化館 館長 大橋 明宏
9月14日(日) //	知多の打瀬網漁と 打瀬船「藤井丸」	知多市歴史民俗博物館 杉浦 理恵

八幡地区祭囃子保存会活動だより

中島祭囃子保存会

中島祭囃子保存会では、会員の勧誘に苦労をしております。推進委員の方々のアドバイスを受けながら協力して進めておりますが、子どもさんたちもなかなか入ってもらえず、いつしか老人の集まりのような現状です。

これからは、組議員の皆さん・役員の皆さんと一緒に周りの人たちに参加を呼びかけ、中島の祭囃子を保存・伝承するための努力をしてゆきたいと思っています。

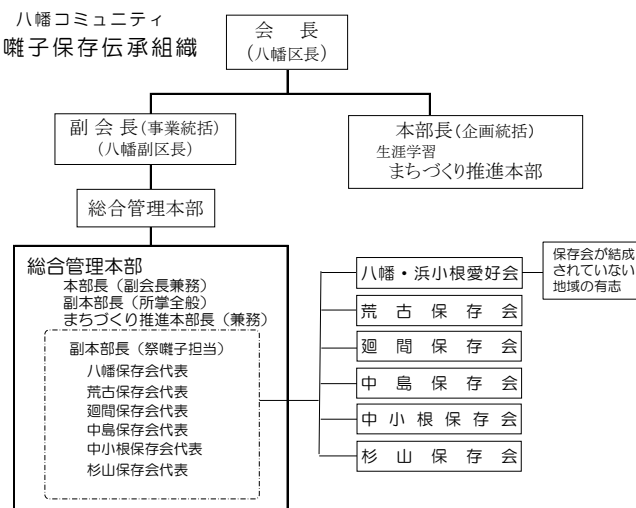


中小根祭囃子保存会

平成24年6月に立上げ、翌年4月から子ども会員を募集し、現在は大人・子ども併せて20名ほどです。笛と太鼓の譜面を作り、子どもは月2回、大人は月4回の練習をしています。ジュースとお菓子の休憩時間を取りながら和やかな雰囲気をみんなで楽しんでいます。

敬老会・八幡神社祭礼・公民館文化祭・元旦奉納と出番もたくさんありました。これからも次世代へ保存・伝承できるよう努力して参ります。

八幡コミュニティ
祭囃子保存伝承組織



八幡・浜小根祭囃子愛好会

コミュニティの祭ばやし練習スクール終了後、保存会に属さない練習生と浜小根の練習生が一緒になって祭囃子の習得に取り組んでいます。誰でも気楽に参加できる様に、名称も「愛好会」としています。

子ども達の上達も早く、八幡神社元旦奉納で生演奏を披露できて、皆大満足でした。この輪を広げようと頑張っております。興味のある方は気軽に参加しませんか。

荒古祭囃子保存会

荒古保存会では、講師を含め20名程が毎月2回公会堂で1時間ほど練習をしています。そして八幡神社の元旦奉納・祭礼の他、字の敬老会、産業まつりなどで生演奏を披露しています。

今後は、若いお父さんやお母さんたちと子どもさんが一緒に練習に加わっていただけるかが、少しでも多くの方たちに永く祭囃子が保存・伝承されるための課題です。

杉山祭囃子保存会

杉山祭囃子保存会は、毎月第2・第4日曜日に小中学生と一般とが別々の時間に練習をしています。練習曲は「杉山の祭ばやし」1曲のみですが、字伝統の曲の保存・伝承に努めております。

講師陣・一般練習生の高齢化や、子どもは中3までと厳しい環境のなか、生徒の補充と次世代の運営責任者・講師陣の確保が課題です。



廻間祭囃子保存会

廻間祭囃子「保存会」へと改名し、八幡神社祭礼で生演奏奉納することを目標に頑張ってきました。それは中止となりましたが、12月15日の廻間地区「秋葉社大祭」において念願の「祭囃子生演奏奉納」が出来ました。

毎月第3金曜日夜の練習で4曲の祭囃子をマスターし、今は「道中曲：ハネ」を練習しています。焦らず、慌てず、しっかり練習したいと思います。



上平井

組長

村瀬茂次



法海寺

寺本四力村の平井村が分割され西平井と上平井になりました。上平井には天智天皇勅願所 日本三薬師ノ一 薬王山法海寺があります。寺本（八幡）の「オヤクツサン」と呼ばれ皆様に尊び親しまれており、大晦日には恒例である越年行事の護摩法を修しています。この度、念願であつた新しい護摩堂が建立されることになり、本年十二月の完成が待たれます。

建て、毎晩、燈明を焚き灯の役目を果たしたので、漁師さんたちからは「御嶽山の明かり」として親しまれていました。現在も両字の総代さんで運営され、毎朝早くから、大勢の方がお参りされています。皆様も無病息災・家内安全のため、是非、お参りを。また健康維持の散歩場所（秋の八幡校区歩け歩け運動コース）としてもおすすめします。

当字民も増え、安全・安心、活気のある街づくりのために、役員一同頑張っています。



御嶽神社

平成25年度

(単位:人)

区 分	上平井		杉 山	
	人 数	人口比率	人 数	人口比率
人 口	636	—	1,345	—
世 帯 数	260	—	553	—
敬老人口	64	10.1%	120	8.9%
子ども会	41	6.4%	67	5.0%

祭神（神功皇后）は息氣長足姫命（おきがたらひめのみこと）であり、神功皇后は第十五代応神天皇（八幡大神）の母君である。八幡神社の祭礼の神輿渡御（みこしとぎよ）は、八幡神社から杉山の神功皇后社まで渡御をされていますが、ある年、途中で嵐に遭い大雨に降られ、天白社へ立ち寄ったことから、以後は中島の天白社への渡御に変わつたと言います。この神功皇后社の境内の一隅に「皇后の井」と呼ばれる井戸があり、常に清らかな水をたたえていましたので、このあたり一帯を「清水が丘」とも呼んでいたそうです。

今は開発され、杉の木に代わり住宅・アパート・マンションが建ち、メイン通りには商店・事務所が立ち並んで、昔の面影は全くなくなりましたが、地名として「杉山・清水が丘」が残っています。

第6回 わがまち再発見

杉 山

組長

石井常

『杉山』、昔は「杉の木が多く繁った山であつた」のが地名となつた所以であろう。しかしながら、杉山地区で杉の木を探したが見当たらない。杉山の氏神である神功皇后社（じんぐうこうごうしや）で二本見つけることができた。

今から三百年程前のこと、一人の修験者が杉山の村を訪れ、清水がこんこんと湧き出ている清浄な森に神功皇后の分霊を祀り、村人に「これは山の神である、信心するがよろう。ことに安産を願う者、子宝を望む者は小豆飯を供えるべし」と告げて何処ともなく旅立つていった。それから、毎年十二月の寅と卯の日に小豆飯を供えて安産祈願をするようになり、今も十二月の寅の日に催されています。



清水が丘本通り



神功皇后社



皇后の井